

2018 年度家庭の省エネアンケート 回答結果

茨城県内イベント等でアンケート回答数 2,475 件のうち、県内の回答数は 2,358 件であった。
茨城県内の回答結果をまとめたものを以下に示す。

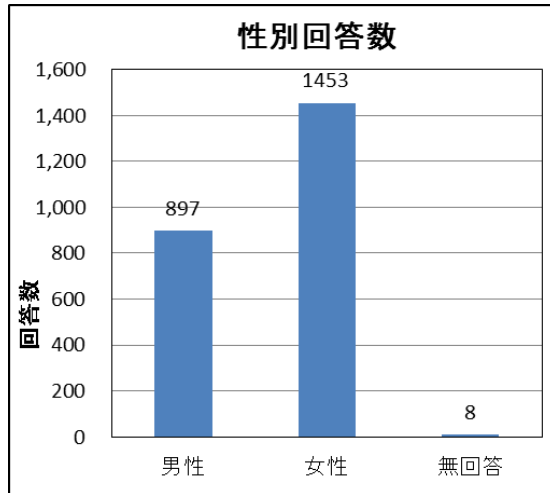


図-1 性別回答数

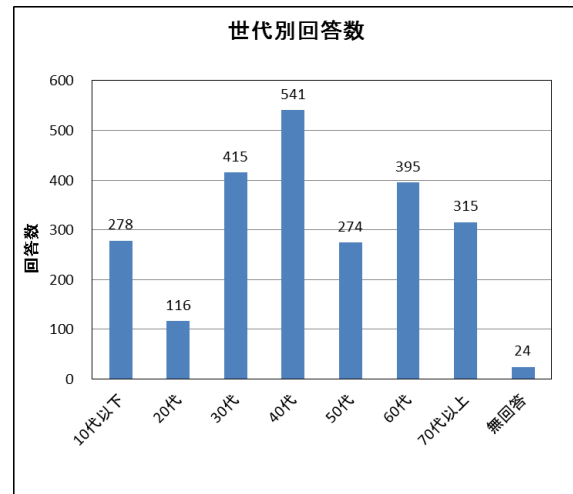


図-2 世代別回答数

性別回答数は、全体に占める割合が男性 38.0% (897 件)、女性 61.6% (1,453 件)、無回答 0.4% (8 件) と男性が約 4 割、女性が約 6 割であった。

世代別回答数については、「40 歳代」が 22.9% と最も多く、ついで「30 歳代」が 17.6% となった。

表-1 省エネ対策取組内容

No.	機器	内容
1	冷蔵庫	設定温度を強から中にする
2		物を詰め込みすぎないようにする
3	照明器具	白熱電球を LED 電球に取り替える
4	テレビ	画面は明るすぎないように調節する
5	エアコン	夏の冷房時の室温は 28℃、冬の暖房時の室温は 20℃を目安にする。
6		フィルターを付きに 1 回、2 回清掃する
7	風呂給湯器	間隔をあけずに入浴
8		シャワー (温水) は流したままにしない
9	電気ポット	長時間使用しない時は電気プラグを抜く
10	電気カーペット	設定温度は低めにする
11	石油ファンヒーター	室温は 20℃を目安にする
12		必要な時だけつける
13	ガスファンヒーター	室温は 20℃を目安にする
14		必要な時だけつける
15	自動車	発進時のアクセルはゆっくり踏み込む
16		走行中はできるだけ速度を一定に保つ
17		早めのアクセルオフをすること

表-1 のそれぞれの項目について、
 A.既に実施している
 B.これから、実施したいと思う
 C.これからも、実施するのは難しい
 の3つから回答をしていただいた。

表-2 省エネ効果算出根拠

	CO2排出係数	単位	原油換算係数	単位	金額換算係数	単位
電気 ※1	0.587	kg/kWh	0.252	L/kWh	27	円/kWh
ガス ※1	2.277	kg/m ³	1.16	L/m ³	180	円/m ³
灯油 ※1	2.488	kg/L	0.947	L/L	64	円/L
ガソリン ※2	2.322	kg/L	0.893	L/L	120	円/L
水道 ※1	0		0		228	円/m ³

係数の引用元(平成30年7月現在)

※1 省エネ性能カタログ2017年冬版(経済産業省 資源エネルギー庁 発行:2017年12月)

※2 家庭の省エネ徹底ガイド春夏秋冬(経済産業省 資源エネルギー庁 発行:2017年8月)

上記の表-2の係数を使いCO2の削減効果を計算した。

表-3 普及啓発による削減効果

	削減効果		
	削減量(CO2-kg)	削減経費(円)	原油換算量(L)
普及啓発前	1,305,867.1	70148260	550,885.45
普及啓発後	445,338.3	23640710	191,439.16
合計	1,751,205.3	93788970	742,324.61

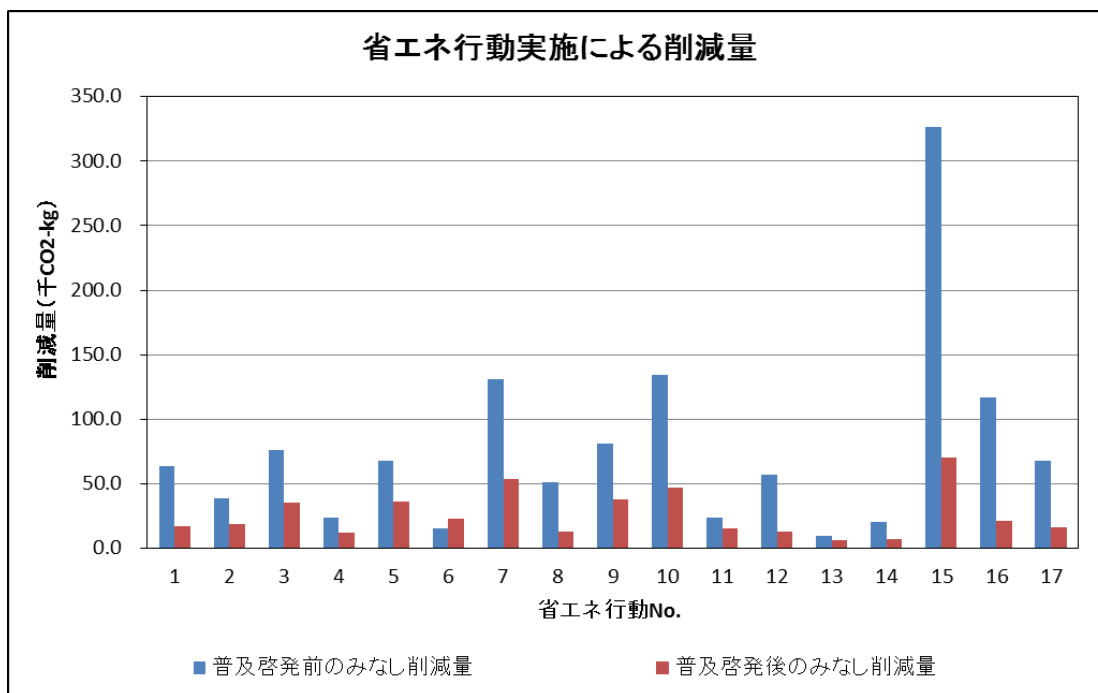


図-3 省エネ行動実施による削減量

表-3及び図-3に、今回アンケートを使用した普及啓発による温室効果ガスの削減量を示す。
CO₂換算で普及啓発前が 1,361,366.3CO₂-kg、普及啓発後 465,315.9 CO₂-kg、合計 1,826,682.2 CO₂-kgという結果になり、一人当たり削減量は 738.0534 CO₂-kgとなった。

また、削減経費に換算すると、普及啓発前が 85,053,480 円、普及啓発後が 27,495,590 円、合計 112,549,090 円という結果になった。

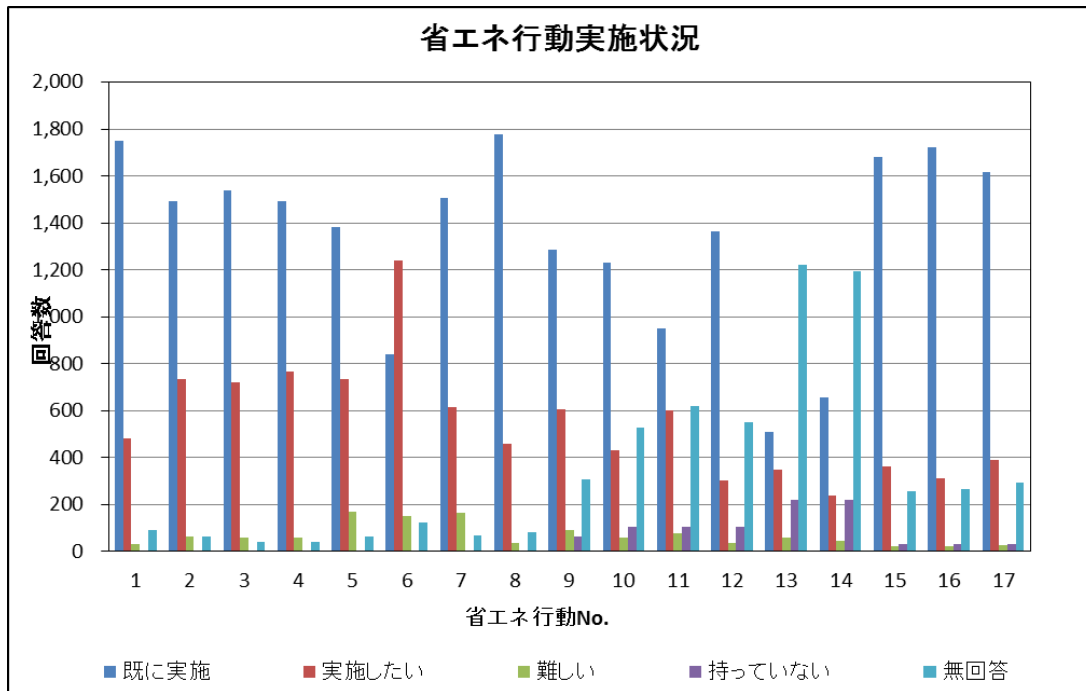


図-4 省エネ行動実施状況

省エネ行動の実施状況として、概ね「既に実施」「これから、実施したいと思う」が多かった。

機器別に見ると 1.2 冷蔵庫、3 照明器具、4 テレビ、7.8 風呂給湯器、15.16.17 自動車については「既に実施」の回答数が多く、これらの機器に関しては既に省エネ意識が高まっていることが伺える。また、6 エアコンについては、「これから、実施したいと思う」の回答の割合が多く、これらの機器においてはこれから省エネ行動が促進され、削減量が増えていくことが期待される。

- 1 冷蔵庫の設定温度を「強」から「中」にする: 削減量 36.2kg, 削減コスト 1,670円
- 2 冷蔵庫の中を半分にする: 削減量 25.7kg, 削減コスト 1,180円
- 3 LEDに交換: 削減量 52.8kg, 削減コスト 2,430円
- 4 テレビ(32V型)画面の輝度を弱めに調整: 削減量 15.9kg, 削減コスト 730円
- 5 エアコンの設定温度を28℃にする: 削減量 49.0kg, 削減コスト 2,250円
- 6 エアコンのフィルタを清掃: 削減量 18.8kg, 削減コスト 860円
- 7 シャワーを1分間短縮: 削減量 87.0kg, 削減コスト 6,880円
- 8 シートワッシュを1分間短縮: 削減量 29.0kg, 削減コスト 3,300円

- 9 電気ポットを保温しない: 削減量 63.1kg, 削減コスト 2,900円
- 10 湯槽を「強」から「中」にする: 削減量 109.2kg, 削減コスト 5,020円
- 11 石炭ファンヒーターを20℃に設定: 削減量 25.4kg, 削減コスト 650円
- 12 石炭ファンヒーターの燃焼を1時間短縮: 削減量 41.9kg, 削減コスト 1,130円
- 13 ガスファンヒーターを20℃に設定: 削減量 18.6kg, 削減コスト 1,470円
- 14 ガスファンヒーターの使用を1時間短縮: 削減量 31.1kg, 削減コスト 2,380円
- 15 自動車(軽自動車)を1年間10,000km走行: 削減量 194.0kg, 削減コスト 10,030円
- 16 自動車(軽自動車)を1年間10,000km走行: 削減量 68.0kg, 削減コスト 3,510円
- 17 自動車(軽自動車)を1年間10,000km走行: 削減量 42.0kg, 削減コスト 2,170円

使用機器	頻度	回答
冷蔵庫	1 設定温度を強から中にする。	
冷蔵庫	2 中の半分のみを半分にする。	
テレビ	3 自動電源オフ機能に切り替える。	
テレビ	4 画面の輝度を弱めに調整する。(設定メニューから)	
エアコン	5 夏の部屋の設定温度は28℃、冬の部屋の設定温度を20℃にする。	
エアコン	6 フィルタを月に1回か2回清掃する。	
電気ポット	7 沸騰しただけで止める。	
電気ポット	8 シヤワーは必要に満たしたままにしない。	
電気ポット	9 長時間使用しないときはプラグを抜く。	
石炭ファンヒーター	10 設定温度を低めに設定する。	
石炭ファンヒーター	11 必要は短くつける。	
ガスファンヒーター	12 必要は短くつける。	
自動車	13 夏場は20℃に設定し、冬場は20℃に設定する。	
自動車	14 必要は短くつける。	
自動車	15 夏場は20℃に設定し、冬場は20℃に設定する。	
自動車	16 必要は短くつける。	
自動車	17 必要は短くつける。	